

彙 報

昭和三十四年度
国文学科講義題目

国文学

古事記講読	倉野教授
古風土記の研究	倉野教授
平家物語	井手教授
謡曲	井手教授
源氏物語講読	目加田教授
枕草子講読	目加田教授
近松世話物	松田助教
俳諧七部集	松田助教
国文学特講	

日本文芸史における「中世」

近世文学と評論	井手教授
大正の文学	松田助教
国文学演習	成瀬講師

万葉集 卷三	倉野教授
平安朝文学	目加田教授

国語学概論	鈴木助教
-------	------

国語学特講

上代特殊仮名遣の研究 鈴木助教

国語学演習

更級日記 鈴木助教

言語学概論 北西講師

中国文学 小西講師

中国古典 米田講師

論語孟子 米田講師

諸子文粹 米田講師

日本史 箭内講師

書道 田村講師

倉野教授

井手教授

目加田教授

松田助教

鈴木助教

昭和三十三年
国文学科卒業論文題目

源氏物語のモデルと作者の創造

芥川龍之介研究

—芸術観を中心として—

赤穂 周子

荒木 初女

万葉集における地名の修飾語の研究 嵐 嘉代子

建礼門院右京大夫集研究 飯野 尚子

陳述副詞の生成過程についての研究 池田 恭子

平家物語増補本の研究 市川 修子

物語における男主人公の形成 岩橋 礼子

万葉集における天皇観の一考察 入江 和子

宮本百合子の文学 上田規矩子

和泉式部の文芸について 大島 篤子

助詞「と」の研究 太田美智子

道綱母と孝標女 岡橋美知子

源氏物語に於ける悲劇性

—三大悲劇を中心に— 包行 節子

島崎藤村作品研究

—広い意味での破戒或は—

倫理性と淫蕩性の相剋—

加納 映子

近松世話浄瑠璃の研究 城戸崎貴子

源氏物語における男君の設定について 草場寿美子

近松の浄瑠璃にあらわれた近世の歌謡

熊沢紀久恵

小野篁の文芸活動について 児島恵子

太宰治研究 近藤 貞子

万葉集における「松」の研究 坂口 和子

上代特殊仮名遣について 高塚恵美子

敗残の十字架 — 太宰治研究 — 田村美和子

「有明の別」の研究 田中熙宮子

宮本百合子研究

— 社会主義リアリズムの志向

過程と「道標」について —

田中 久代

本朝二十不孝論 鶴 芙佐子

徒然草の西鶴の作品に与えた影響 河野 真弓

大鏡考察 西岡 和子

源氏物語における葛藤の性格について 西山 納子

近松世話浄瑠璃の研究 野口 典子

宇治十帖と狭き門との比較研究

啄木短歌の意義 林 見枝

花袋文学について 播磨 康子

有島武郎論 尾藤 慶子

近松世話物における老人の研究

平山 久恵

西行法師研究

— 西行と草庵 —

藤原定家と時代思想

石川啄木研究

— 小説を中心に —

万葉集の題詞について

芥川龍之介研究

— いわゆる歴史小説を中心にして —

平安朝前期における「清原家の文芸」

万葉集月歌研究 室屋 順子

能楽論の研究 矢島 優子

宗祇の連歌論書と連歌 山口 澄子

山口タミ子

成瀬講師集中講義

隔年に行なわれる近代文学の集中講義

は、本年度、東大教授成瀬正勝氏を招き、

左の通り実施された。

一、講義題目 近代文学特講・大正の文

学

一、期 間 昭和三十四年十月十九日

二十三日（五日間）

退職・新任

古田東朔氏 昭和三十四年三月三十一日

附で退職。

鈴木真喜男氏 古田氏の後任として、四

月一日附で新任。

国文学会第四回公開講演会

福岡女子大学国文学会主催の恒例の公開

講演会は、五月三十一日（日）午前十時か

ら太宰府天満宮文書館で開催され、盛況で

あつた。講師および講演題目は左の通り。

源氏物語における二代目

福岡女子大教授 目加田さくを氏

俳壇の構成

九大文学部教授 中村 幸彦氏

香椎瀉発行

福岡女子大学国文学会機関誌「香椎瀉」

は、本年七月に第五号が発行された。

本 学 校 歌 制 定

創立四十周年を記念して左記の校歌が制

定された。作詞は本学教授倉野憲司博士、

作曲は福岡学大教授森脇憲藏氏。

福岡女子大学校歌

一、香住が丘に 朝は来ぬ

をみなの目覚め 新しく

うましき世をば ねがひつつ

瞳も清く さわやかに

学びの林 分け入りて

真理求めん 旅人われら

二、真澄の鏡 撫子は

われらのしるし まさやかに

悔いなき四年 送りつつ

新潮かをる 香椎瀧

茜に染むる 夕映えの

空に寄せなん をみな希望

井手教授新著公刊

井手教授の新著『日本文芸史における無常観の克服』が公刊された。日本文芸の歴史的考察の試みの一つとして、それが仏教の無常観とどのように対決し、またそれをどのように克服して来たかを論じたもので、これまでの、仏教思想が日本文芸史上の諸作品の内容を豊富ならしめたとする学界内外の常識を打破しようとするところ

に、特色がある。(A5版 一五〇頁 東京都千代田区神田神保町世界書院発行 定価二八〇円)

編著書・論文

(三三・一〇―三四・一〇)

教授 倉野 憲司

1 古典のいのち (PHP、No. 126) 三三・一〇・一

2 興福寺大法師等の長歌私注 (文芸と思想、第十六号) 三三・一〇・二〇

3 松村武雄博士著「日本神話の研究」(国語と国文学、第四一七号) 三三・二・一

4 古事記の校本定本の作成並びに研究 (昭和三十二年度文部省研究報告集録、人文篇(1)) 三三・一二・一五

5 万葉集卷五梅花歌序の「詩紀落梅之篇」について (国語と国文学、第四一九号) 三四・二・一

6 新撰亀相記と古事記 (日本上古史研究、第三卷第三号) 三四・三・一

7 クシヤミと文学 (明日香路、第十一卷第四号) 三四・四・一

8 呪禱文学 (岩波講座「日本文学史」第三卷、古代Ⅲ) 三四・六・一〇

9 伊勢物語管見 (言語と文芸、第五号) 三四・七・一

10 神田秀夫著「古事記の構造」(図書新聞) 三四・七・一八

11 万葉解釈上の一用意 (国語研究、3) 三四・七

教授 井手 恒雄

1 『日本文芸史における無常観の克服』 (三四・七・二五 東京 世界書院)

2 「つれづれ草と無常観」 (文芸と思想 第十六号)

3 「いわゆる説話文学の文学的価値」 (語文研究第八号)

教授 目加田さくを

1 源氏物語論攻 ―二代目の設定― (平安文学研究 第二十二輯)

2 日本小説発生の序論 ―先行文芸の存在その一― (文芸と思想 第十六号)

3 清少納言の詠歌放棄 (香椎瀧第五号)

助教授 松田 修

1 「曾根崎心中」成立前夜 (文芸と思想 第十六号)

2 日本小説発生の序論 ―先行文芸の存在その一― (文芸と思想 第十六号)

3 清少納言の詠歌放棄 (香椎瀧第五号)

助教授 松田 修

1 「曾根崎心中」成立前夜 (文芸と思想 第十六号)

2 日本小説発生の序論 ―先行文芸の存在その一― (文芸と思想 第十六号)

3 清少納言の詠歌放棄 (香椎瀧第五号)

助教授 松田 修

1 「曾根崎心中」成立前夜 (文芸と思想 第十六号)

2 日本小説発生の序論 ―先行文芸の存在その一― (文芸と思想 第十六号)

3 清少納言の詠歌放棄 (香椎瀧第五号)

2 翻刻源氏御談義(千鳥抄)(上)(文芸と思想 第十六号)

3 西鶴と博多 (香椎瀧 第五号)

4 柳町年表(一) (同)

助教授 鈴木真喜男

1 「地」のかな一定家自筆本における――
(国学院大学国語研究会編「国語研究」第八号)

助手 前田 淑

1 幸若舞曲「百合若大臣」と報恩経

――百合若文学成立に関する一試論――(文学・語学 第十二号)

国文学研究室

受贈図書雑誌

(三三・九―三四・九)

鹿持雅澄遺稿 高知大学国語国文学研究室
自然と印象(複刻) 昭和女子大学光葉会

「国語国文」分類総目次

熊本女子大学国文談話会

源氏物語絵詞の本文資料的価値

岩下 光雄氏

近代国語教育小史(明治前期)

古田 東朔氏

日本文学史論 ―古代―(島本恵也著)

塔影詩社

新古今和歌集(古典全書)

小島 吉雄氏

句集 花 徑

徳永夏川女氏

国文学研究第十八輯 早稲田大学国文学会

女人短歌 36 37

女人短歌会

上代文学 第十号

上代文学会

没柿 昭和三十三年十月

昭和三十四年九月

没柿 社

人文研究 第9巻第7号

大阪市立大学文学会

女子大國文 第十号―第十四号

京都女子大学国文学会

文学論藻 第十号―第十四号

東洋大学国語国文学会

語文 第六輯 第七輯 日本大学国文学会

樟蔭文学 第10号

大阪樟蔭女子大学

国文学 第二十三号―第二十六号

関西大学国文学会

実践文学 第五号

実践文学会

中国文芸座談会ノート No.11

九大中国文学研究会

日本文学 創刊号 第二号

立教大学日本文学会

国文学攷 第二十号、第二十一号

広島大学国語国文学会

語文 第二十輯―二十二輯

大阪大学国文学研究室

文学紀要 I

佐賀大学文理学部学会

国語研究 第八号

国学院大学国語研究会

人文科学科紀要 第十六輯

東京大学教養学部

研究(文学篇) 第十七号―第十九号

神戸大学文学会

成城文芸 第十五号―第十九号

成城大学文芸学部研究室

紀要 第9輯(文学語学)

愛知県立女子大学

学大國文 第2号

大阪学芸大学国語国文学研究室

国文学

慶応義塾大学国文学研究室

文学研究科紀要 4

早稲田大学大学院文学研究科

日本文学 第十一号、第十二号

東京女子大学日本文学研究会

研究紀要 第9集

広島女子短期大学

紀要 第十輯

青山学院女子短期大学

国語国文学会誌 第3号

学習院大学国語国文研究室

文学論叢 第17輯 第18輯

愛知大学文学会

佐賀龍谷短期大学紀要 第六号

佐賀龍谷短期大学

国文 第十号 第十一号

お茶の水女子大学国語国文学会

文学会論集 8 9

甲南大学文学会

書陵部紀要 第10号

宮内庁書陵部

人文社会 第十六号 第十八号

弘前大学人文社会学会

不知火 第十一号

熊本大学教育学部国文学会

甲南国文 第3号 第4号

甲南女子短期大学国語国文学会

国語国文学 1 2

名古屋大学国語国文学会

武蔵大学論集 第6巻第4号

武蔵大学学会

東京教育大学紀要 国文学漢文学論叢

第四輯 東京教育大学文学部

日本文学誌要 復刊第二号

法政大学国文学会

立正大学文学部論叢 10 11

立正大学文学部

実践文学 第六号 第七号

実践大学編集部

紀要 第二号

共立女子大学

語文研究 第八号

九州大学国文学会

国語国文研究 第12号 第13号

北海道大学国文学会

清心国文 第2号

ノートルダム清心女子大学国文学研究室

しその実 創刊号

広島女子短期大学国文科

人文学報 第19号

東京都立大学人文学会

聖心女子大学論叢 第12集

聖心女子大学

九州中国学会報 第五巻

九州中国学会

方言研究年報 第二巻

藤原与一氏

愛媛国文研究 第8号 愛媛国語国文学会

中大国文 第二号 中央大学国文学研究室

学術紀要 第十一号 岡山大学法文学部

文芸研究 第六号 明治大学文芸研究会

金沢大学法文学部論集 金沢大学法文学部

りてらえ やばにかえ 創刊号

りてらえ やばにかえ

国文学研究 第十九集 早稲田大学国文学会

紀要 V

北星学園女子短期大学

和歌文学研究 第七号、第八号

和歌文学会

跡見学園国語科紀要 7

跡見学園国語科研究会

清泉女子大学紀要 6

清泉女子大学

説林 IV

愛知県立女子大学

山辺道 第五号

天理大学国文学研究室

文学論輯 第六号

九州大学教養部国文学研究室

立正大学国語国文 創刊号

立正大学国語国文学会

天理大学学報 第二十九輯

天理大学人文学会

平安朝文学研究 第四号

早稲田大学平安朝文学研究会

北海道大学文学部紀要 7

北海道大学文学部

音声学会会報 第百号 音声学会

堤中納言物語伝本考(五) (抜刷) 高知大学

世阿彌の芸道(同) 同

鹿持雅澄年譜稿(同) 同

延享・天明期の浄瑠璃・太夫・評判(同) 同

近世俗語ノート(同) 同